

## 会議録

◇詳細－企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称	令和5年度 第3回総合教育会議	
事務局(担当課)	政策経営部企画課	
開催日時	令和6年3月18日(月) 14時00分～15時35分	
開催場所	教育委員会室(本庁舎8階)	
案件	1. 令和6年度区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点事項について	
公開の可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高際区長、金子教育長、樋口教育長職務代理者、酒井委員、村瀬委員
	事務局	教育部長、企画課長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後 対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、企画課担当、庶務 課担当

○企画課長

それでは定刻になりましたので、これより令和 5 年度第 3 回豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。本日傍聴者はありません。

それでは議事進行につきまして、会長であります高際区長お願いいたします。

○高際区長

本日はお忙しい中ありがとうございます。

本日の議題は「令和 6 年度区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点事項について」です。昨今の教育を取り巻く社会の動向や社会状況の変化を踏まえた上で、来年度教育委員会が区長部局と連携・協力し、特に重点的に取り組んでまいります内容をまとめております。委員の皆様からご意見をいただき、本日協議・決定をさせていただきたいと思っております。

そして報告事項が二つございます。一つ目は 1 月 28 日に実施した「未来としまミーティング」について、二つ目はその後実施した小学校・中学校それぞれの PTA 連合会、および中学校 8 校の生徒会役員の皆様と実施した意見交換についてです。いずれも大変有意義なものでございました。それぞれ伺った意見については、今後検討する教育大綱にもぜひ反映をさせていただきたいと思っております。

では本日も忌憚のないご意見を様々頂戴できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速「令和 6 年度区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点事項」について説明をお願いいたします。

○高橋庶務課長

・資料 1「令和 6 年度区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点事項」説明

○高際区長

それでは、今説明をさせていただきましたそれぞれの項目について、ご質問ございましたらお願いいたします。

○樋口委員

資料 5 ページの「学校徴収金公会計化等の検討」ですが、具体的に今どのようなことをしていて、これからどのようなことを導入しようとしているのかを教えてください。

○後閑教育施策推進担当課長

公会計化については、まず、学校給食費、次に教材費や修学旅行費の順に対応していくことを想定しております。

給食費につきましては、豊島区は既に無償化が始まっておりますので、教員の働き方という面では、先生の徴収、催促の管理は一定程度解決がされているところでございます。

しかしながら、現在も給食費については私費会計として学校に多額の公金が渡っておりますので、公会計化を行い、透明化を図っていきたいと考えております。

○樋口委員

給食費の無償化については、区長が先進的に足がかりをつけてくださいました。ありがとうございます。

これは教育委員会のときにも申し上げたのですが、都の費用で進めるものと、区独自にオリジナルでやるものが混在していて、読み切れないところがあります。そこを明確にさせていただけると、より豊島区の独自性が分かりますし、私も意見を申し上げやすいと思っております。

今のお話を伺う中で、義務教育の教育活動に関わる教材費ですとか、修学旅行費なども今後視野に入れていくようでしたが、ここはかなり検討が必要であると思いますので、これから十分にお話し合いたいと思います。

義務教育段階の子どもたちの教育活動をバックアップしてくださるといふ、豊島区のその姿勢は大変嬉しく思っております。

○酒井委員

非常に多岐に渡るご支援をいただきまして、ありがとうございます。

いくつかあるのですが、一つ目は5ページの「学校マネジメント強化事業（副校長補佐）」についてです。予算をつけてくださり非常にありがたいのですが、内容を見ますと、サービス管理・調査対応・外部対応など、かなり多岐にわたる仕事になります。そのため、ある程度学校の職務をお分かりいただいた方じゃないと難しいのではないかと思います。そういう意味でも、副校長補佐の人選がやはり非常に重要であると思います。ただ単に人を誰かつければよいというような業務内容ではないと思いますので、そこはぜひご配慮をお願いしたいです。

○丸山指導課長

ありがとうございます。来年度副校長補佐を6名配置するというところで、先日面談を終えたところです。採用条件として、事務の仕事をしたことがある方、

学校や子どもに関わる仕事をされた方ということで募集をしましたところ、他区において業務経験がある方でしたり、現在教員で退職を予定している方といった、学校をよくご存知でいらっしゃる方からの応募がありました。

#### ○酒井委員

非常にありがたいと思います。副校長補佐を置いたことで校長先生の仕事が増えてしまうのは本末転倒です。職務のことを分かってくださる方ですと、動きが全然違うかと思います。

二つ目は4ページの「GIGA スクール構想の実現」についてです。学校図書館に司書を配置してくださったことは非常にありがたいのですが、「地域に開かれた図書館のあり方を検討する」と書いてございます。地域連携は非常に重要だと思うのですが、やはり学校図書館は子どもたちのための図書館であり、学習活動の要でもありますので、その部分をあまり侵食しない形で地域に開いていくということが重要かと思います。

#### ○丸山指導課長

来年度、図書館司書をつけてパイロット校として実施するのが千川中学校です。新校舎は、学校の図書館を地域の方と共有するつくりとなっております。今年度、清和小学校で地域と図書館の連携について研究をしてきました。今後も清和小学校と千川中学校の司書と一緒に、プロジェクトとして進めていきたいと思っています。

#### ○酒井委員

ありがとうございます。

たくさんあって申し訳ないのですが、三つ目は3ページの「誰一人取り残さない学びの実現」についてです。こちらも充実していただいて、SSW（スクールソーシャルワーカー）を増員していただき大変ありがたいのですが、その中で「ヴァーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）の活用」というのが新規事業としてございます。東京都でもよく似た施策を並行して実践しております。こちらはおそらく、区独自の事業になるのかと思いますけれども、東京都とどういった兼ね合いで実施していくのかについて、お聞きしたいです。

加えて、SSWが主担当で入るようですが、東京都はどちらかというところ、SC（スクールカウンセラー）が担当して話を聞くことを想定しています。SSWを主軸とされている経緯を伺いたいです。あるいはSSWもSCを兼ねていらっしゃる方が多いので、担当される方がそのような方なのかということをお聞きしたいです。

○野崎教育センター長

まずこの VLP ですけれども、東京都の事業に豊島区が参加する形となります。

○酒井委員

東京都の事業に参加するということですね。申し訳ありません。

○野崎教育センター長

来年度は教育センターの適応指導教室に通っている児童・生徒を対象とし、職員体制としては、適応指導教室の職員に加え SSW も担当するというイメージでございます。また、適応指導教室の職員には心理職もあり、いわゆる SC のような存在もおります。

○酒井委員

ありがとうございます。どのぐらい効果があるのかを明らかにすることが非常に重要だと思っております。ぜひ検証をお願いしたいです。

○高際区長

報道でもヴァーチャルを活用した取り組みが取り上げられることが多く、不登校や引きこもり対策として、大変期待しているところがあります。もう少し小さい子に対しては、子どもの権利相談室で「なやミミ」のアバターを活用した取り組みをトライアルでやっています。大人と一対一で向き合うことに対して少しハードルが高い子も、「なやミミ」のようなかわいいキャラクター、あるいはアバターであれば悩みを相談しやすくなります。

期待感をもちつつ、実際にどのような効果があるのかについて、しっかりと検証していきたいと思えます。

○酒井委員

私は東京都でこの関連事業に関わっておりまして、自治体ごとにより運用実績が違います。そのため、効果的に使えた自治体を参考に運用するとうまくと思えます。

○高際区長

ありがとうございました。またご意見をいただければと思えます。

最初樋口委員から公会計化の話がありましたが、教育分野における DX 化は多く報道されています。教育大綱でも、学校側の負担軽減については、柱として出

していきたいと考えております。親御さん側からしても、断然手数が減る部分もあるでしょうし、もう一歩二歩進めていかなければ、あっという間に他の自治体と差がついてしまうのではないかという気がしています。特に支払いに関わるデジタル化については進めてきたいと思っております。

また、酒井先生からお話のあった図書館ですが、私も地域に開くのも重要ですが、学校の図書館の機能向上のために司書をつけたいと思っております。地域に開いていくのは、その後という認識です。令和6年度は、調べ学習や先生方の総合学習の際のお手伝いなど、学校図書館に司書を配置したことで、これだけ効果があったということを検証していきたいと思っております。

#### ○樋口委員

ありがとうございます。区長がおっしゃる通りで、私もそれを期待しています。地域の方には地域の図書館があります。まずは子どもたちが学校の図書館で探究的な勉強ができて、さらに先生たちも自身の研究が進められる、そういう図書館にしていただけたらすごく嬉しいなと私は思います。

#### ○高際区長

やはり報道でも、司書がいることで、小学生も中学生も年間の読書量が増え、先生たちにもサポートが入ることで授業の質が高まるという効果があるようです。幼いときから本と長い時間一緒に過ごすことが、子どもたちに多くのメリットがあるということを改めて痛感しています。

このモデル事業・モデル配置について、具体的に区としてどのようにやっていくのか説明お願いできますか。

#### ○丸山指導課長

2校を対象にモデル実施を行ってまいります。清和小学校がこの2年で実施してきた研究では、地域図書館との連携により、読書量や本の貸出量が増えたという実績もございます。

今後千川中学校で実施していくにあたり、中学校の先生たちはそれぞれ教科に専門がありますし、中学生はなかなか図書館に行かないという現状もあります。清和小学校で行ってきた研究を中学校にも広げていくために、まずはこの2校のプロジェクトを進めていきたいと思っております。

#### ○高際区長

司書が1日、2日だけいるような形ではなく、やはり常駐していることが重要だと思います。図書館の方は頑張りたいと思っております。

加えて、酒井先生からお話がありました、学校マネジメント強化(副校長補佐)についても、先ほど指導課長からお話をさせていただきましたが、まずは副校長のサポートをうまくすることで教員全体の目配りをやっていただけるようになるというなと思っております。

村瀬委員からも、特にこれは力入れてほしい等ございましたらお願いします。

#### ○村瀬委員

ありがとうございます。

PTA 会長や子どもたちから直接話を聞いてくださり、ありがたいと思っております。先日の意見交換会で、千登世橋中学校の子どもたちから「勉強する場所はないのか」という問いがあったことがすごく嬉しかったです。家では集中できず、外で勉強したいけれど図書館では勉強ができない、もしくは勉強するスペースがあまりないそうです。一番勉強してもらいたい人たちなので、そう言ってくれることが大変嬉しかったです。勉強する場所を提供すると、またそこが居場所になったりもするのかもしれないなと思ったりもしました。

また、今技術科や家庭科の教員が足りません。やはり家庭科や技術科は、その授業の中だけではどうしても作業が終わらなかつたりします。そこで、たいてい技術科の先生が「今日放課後残ってやっていいから来てね」と声をかけてくれるそうです。どなたかがいないと放課後残ってはいけない決まりがあるそうですが、技術科の先生でなければいけないわけではないと思います。子どもたちの学びをさらに深めるためにも、可能なのであれば、育成の方や町会の方を巻き込んで協力いただけないかなと思っております。

勉強する場所についても同じで、放課後に見ていただける地域の方がいれば、子どもたちが勉強する場所として教室を開放するということが可能になるのではないかと思います。簡単なことではないのかもしれないですが、そういうふうにしていただけると嬉しいなと思っております。

#### ○高際区長

生徒会との意見交換でも「勉強できる場所がないので自習室がもっと欲しい」という意見がありました。あとは「夏休み期間だけでも良いので、図書館など勉強できる場所を開けてもらえないか」といった意見もありました。他には、PTA の方たちから「先生が大変なので何かお手伝いできる参画の仕方はないのでしょうか」といった質問もありました。

#### ○後閑教育施策推進担当課長

まさにコミュニティスクールは、「地域とともにある学校」を目指すものであ

ります。コミュニティスクールになった暁には、ぜひ地域の方のそのような声もお聞きした上で、学校の授業や行事などに参加していただき、地域とともにある学校を目指していきたいと思っています。

#### ○高際区長

PTAの方々からも、クラスに発達障害のある子がいたり、走り回ってしまう子がいたり、あるいはそういう子がいないとしても、もう1人教室にいてくれると良いというお声が多くありました。その時も「その1人の方は教師でなくてもいいのではないか」といった話になりました。

コミュニティスクールの全校展開を進めて行く中で、大きなポイントになるのかなと思っています。他に何かご意見等ありますか。

#### ○樋口委員

よろしいですか。1点目は「小学校のデジタル教科書の導入」についてです。どんどん検証を行って、ぜひ中学校にも入れていただきたいです。豊島区は先進的ではないのでぜひお願いしたいです。ただ、入れれば良いという問題ではなく、先生方がそれをいかに活用できるかという技量が今後の大きな課題になってくると思いますので、非常に値段の張るものではありませんが、少しずつデジタル教科書が増えていくといいなと思っています。

2点目は各学校の「部活動の外部指導員」についてです。地域連携・地域移行という言葉がありますが、私はまず各学校のすべての部活動に、外部指導員がないことが問題かと思っています。来年度予算をつけて増額していただいたというお話も承っているところではありますが、もっと充実していただけたらと思います。

それから3点目は、今のコミュニティスクールについてです。コミュニティスクールは現在の制度でも、先ほど区長がおっしゃってくださったような場面で、地域の方のお力を借りて学校の教育活動をお手伝してもらうことはできるかと思っています。コミュニティスクールにならなければならないということではなく、そのような気持ちがあるけれどもどうやっていいのかが分からないといった方の交通整理をして差し上げながら、コミュニティスクールでさらに充実を図っていくことが必要なのではないかなと思います。

#### ○高際区長

前も申し上げましたが、選挙で地域を回ったときに、「先生が大変なので私達ももっと手伝いたいですが学校側が入らせてくれない」とおっしゃるお母様方が何名もおられました。先生でなければできない、あるいはやってはいけないことが



あるのであれば、そこは言ってもらえればと思いますが、自分たちがサポートできることがたくさんあるのに、学校に入れてもらえないという声がありました。私もそれはなぜだろうと思っていました。

#### ○樋口委員

そのように、学校と保護者の方の思いが噛み合っていないのは、やはり私は学校長にも責任があると思っています。今学校はこういうことで困っているということをもっとフランクにご相談する必要があると思います。豊島区はPTAの会長さんをはじめ、皆さん大変協力的です。私もなぜそこがうまく噛み合っ、歯車にならないのかなと感じています。

#### ○後閑教育施策推進担当課長

学校行事への参加、部活指導など、学校も手伝って欲しいという思いがあり、地域の方も手伝いたいという思いがあるのに、そこにミスマッチが生じてしまっています。

豊島区のコミュニティスクールは、令和3年度から始まり、今少しずつ進めております。地域学校協働活動という仕組みも確立できてないところがあります。この豊島区のコミュニティスクールの仕組みについてももう1回検討し、各校長先生からもどのようなことをコミュニティスクールでやりたいのかということもしっかり話を聞き、地域の方と学校との連携を強めていきたいと思っています。

#### ○高際区長

学校サイドからすると指導課長いかがですか。

#### ○丸山指導課長

やはり指導課としては、学校長には「校長の限界が学校の限界にならないように」と伝えていきます。来年度新体制となり、新しい校長も入ってきますので、今伺ったことを肝にとどめて指導していきたいと思っています。

#### ○高際区長

ありがとうございます。

#### ○村瀬委員

やはりコミュニティスクールになろうと、そうでなかろうと、地域の方は、一緒に学校を支えていこうという熱い気持ちをお持ちです。ですが、学校に一番近

いのは保護者です。自分の子どもを通わせている学校で先生たちが困っている、その時に何ができるかを考えられるのは、やはりすぐ近くにいるのは保護者かと思います。保護者が手伝いやすいウェルカムな感じで、どんどん手を差し伸べられるようになると一番いいなと思います。コミュニティスクールとか関係なく、学校に入りやすいようにしてもらいたいです。

#### ○高際区長

たしかに、先生が大変なときはいつでも行きたいのというようなお声が多かったです。学校によって、もし温度差があるとしたら、そこは高いレベルに上げるように取り組んでいかなきゃいけないなというふうに思いますね。

酒井先生、何かございますか。

#### ○酒井委員

今のコミュニティスクールについてですが、おそらく学校側と地域の方のリソースを繋げていく、その要の人が非常に重要だと思います。コミュニティスクールの運営の仕方は実際にいろいろありますが、コーディネーターの方を1人きちんと配置しているとうまく繋げることができると思っています。これはここにお願ひしてみようとか、ここは保護者の方にちょっと協力を仰ごうとか、そういう動きができる方が1人いると、組織が変わると思います。

#### ○高際区長

そうかもしれませんね。ありがとうございます。教育長から何かございますか。

#### ○金子教育長

皆さんから出た意見は、その通りだと思います。特に公会計化のところは、無償化という概念と、公会計化とがややこしいのですが、我々がきちんと説明をして、皆さんのご理解を得ないといけないと改めて思いました。

加えて、人員の増のところについてはおっしゃる通りですので、強化をしていきたいと思っています。そのためにも、折角予算を付けていただいたモデル事業については、今後効果検証をしながら、さらに拡充をしていただけるように頑張りたいというふうに思っております。

最後に、やはりコミュニティスクールは、豊島区らしい学校と地域がどうやったら一緒にやってもらえるのだろうかということが、やっと展開できる時期なのかなということもあります。学校評価は全校でやっていただいています、それ以外は少し留まっているところがあります。その評価に基づいて何をするかといったときに、人の設置も重要ですが、いわゆる協議会のように、学校がど

うしていくかということをしかりと見つめて検討したい、決定に参画したいという方もおられると思うので、それぞれの方が参加できるように、これから工夫が要るのかなと改めて皆さんのご意見を聞いていて感じました。以上でございます。

#### ○高際区長

これは、来年度教育大綱、教育ビジョンをつくる前提になる取り組みになってきます。重要なところですので、どうぞお心残りないように、ご意見があればお願いします。

#### ○村瀬委員

ありがとうございます。今年から ISS（インターナショナルセーフスクール）の認証がなくなります。地域の人たちも「来年は審査だから」と言って気合を入れておりましたし、学校で怪我をしないためにどうしたらいいかということを実際に子どもたちが考えている姿を見て、みんなの緊張感というものを感じてきました。保護者としては、皆さんの思いが集結するこの雰囲気はすごく安全に繋がったなと思っています。その ISS をなくしてコミュニティスクールにと言っただけでは、絶対に同じものは得られません。コミュニティスクールで何とかしてくれるでしょうっていうのでは、絶対子どもたちは安全のことなんて考えなくなってしまうと思います。

けれども、これまで培ってきたものがありますので、これからは審査会に会長として区長が来られてもいいと思いますし、何か強みを持った方でもいいですし、この人たちに認証してもらうにはやっぱりちゃんとしないといけないねとみんながそう思えるような何かをしていただけると嬉しいです。せっかく培ってきたものを、豊島区オリジナルで今後も続けていくには、何でもいいので、何かスパイスを加えて、じゃあこれからも頑張ろうと子どもたちが思うことがすごく大事だなと思っています。

区長が来てくださるだけでも子供たちはすごく喜ぶと思います。豊島オリジナルを作ってやっていくその下地はできていると思いますので、コミュニティスクールに丸投げせず、きちんとこういう審査を行いますという流れを必ず作って欲しいと思います。

#### ○澤田教育部長

今まで培ってきた経験をこれからも活かしていきたいという思いを持っています。子どもたちにとって、安全安心という一つ明確な目的があって、審査に臨んだことは非常に意義があったと思います。これから先どのような形で継承し

ていくか、具体的には、皆で話し合いながら、いい形にしていきます。

#### ○金子教育長

認証時に旗や賞状をもらい、子どもたちは誇りに思っています。今後は少し形が変わりますが、できたね、よかったねとしっかり子どもたちの取り組みを褒めていきたいと思っています。

加えて、熱心にやっている学校は、オリジナルの ISS ノートというものを作成して、今月はこのような安全安心の取り組みを行ったということを学習の一環で披露し合っています。子どもたちをがっかりさせるわけにいかないの、せつかく到達した地点を下げないようやっていきたいなと思っています。

#### ○高際区長

私も ISS の方向性を判断するとき気になったのは、頑張ってきた子どもたちのことでした。お話を聞いて、例えば今年の SDGs フェスティバルを、ISS を頑張ってきた学校が取り組みを発表する場にすると良いのではないかと思いました。そうすることで、これから頑張ってもらいたい学校のお手本になり、子どもたちが頑張ってきたことが豊島区の学校のリーディングケースになると思います。お手本として、みんなの前で発表できるような場があるといいかなとお話を聞いて思いました。頑張ってきた子たちが悲しまないようにしたいなと思います。ありがとうございます。

今回まとめてもらいましたものが、今考えている教育大綱の柱と本当にピタッと合う感じがしています。すべての子どもたちの学びを応援したいと思っていますし、そのためにもスクールソーシャルワーカーなり、スキップサポーターなり、人の体制も強化していきたいです。

それからデジタルの推進については、1人1台端末の導入は早かったですが、その後がちょっと足踏みしていますので、デジタル化は進めていきたいです。

やはり学校を応援したいという気持ちがすごくあります。そして、地域全体で、みんなで子供たちを支えるという意味では、コミュニティスクールもありますし、学校そのものの環境整備も含めてやってきたいなと思っていますところでございます。特に力を入れたいのは図書館です。図書館は頑張りたいと思っていますので、またご意見をいただければと思います。

来年度は今日ご説明したこちらの内容で、ご意見いただいたものも盛り込みつつ、区長部局と教育委員会がしっかり連携して取り組んでいきたいと思っています。どうもありがとうございます。こちらで決定をさせていただきたいと思っています。

では、これから二つ報告がございます。どうぞ。

○後閑教育施策推進担当課長

・資料2『第3回「未来としまミーティング」実施書』説明

○高橋庶務課長

・資料3「小・中学校PTA連合会及び中学校生徒会役員と区長との意見交換会実施報告」説明

○高際区長

PTA連合会の皆さんは、私が伺う前にそれぞれの学校の役員の方々にアンケートをとっていただきました。詳細なご意見をいただき、非常に良い材料、ありがたい材料だなどと思えました。これらは、教育委員会や子ども家庭部にも共有しながら活かしていきたいなと思っています。

そして、教育大綱・教育ビジョンに向けてのアンケートも、PTA連合会の皆さんに多くのご協力をいただきました。感謝を申し上げたいと思います。

この後、年度替わりまして、ぜひ学校現場の声も聞きたいなと思っています。校長先生や10年目ぐらいまでの若手の先生方にも、お声を伺う場を持ちたいと思っています。

ありがとうございます。今日の議題とご報告については以上になりますけれども、最後各委員からございましたら。樋口委員どうぞ。

○樋口委員

年度末の大変お忙しい中、12月からこの3月にかけて、3回にわたりこうして区長とそれこそ膝を交えて、率直にお話をさせていただき、意見を述べさせていただきましたことを心から感謝いたします。

教育長はじめ、部長そして各課の課長さんも、日頃一生懸命子どもたちのために、学校のためにと、努力をしてくださっています。

目の前のことも大事ですが、足元のことと、もう少し中期的なことを常に大所高所からアンテナを高く、子どもたちや学校のことを思っただけの高際区長のお取り組みを本当にありがたく思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

○高際区長

ありがとうございます。村瀬委員どうぞ。

○村瀬委員

ありがとうございます。たくさん子供たちの声を聞いてくださるのが、一番嬉しいなと思っています。

たとえ話ですが、15キロの荷物を毎日運んで肩や腰が痛いと言っている子どもたちの声を聞くと、ランドセルや学校指定のカバンでなくとも、キャリーケースでも良いように私は思います。子どもたちを信頼し、きちんと頑張れる子たちがたくさんいますので、学びに集中し、伸びやかに育ってほしいと思っています。

区長の子どもたちに対する応答が非常に優しいので、子どもたちもすごく嬉しかったようです。日頃お忙しいと思いますので、これからも例えば月に1回とか、学期に1回とか、オンラインでもよいので区長と直接話せる機会があるとありがたいなと思います。これからも、子どもと一緒にいろいろ考えていただけるとこれからも嬉しいと思います。ありがとうございます。

○高際区長

ありがとうございます。酒井委員どうぞ。

○酒井委員

本当にありがとうございます。

区長がいろんな現場の方の声をきちっと聞いてくださって、やはり細かいところを丁寧に見て施策に落としただけなのは、本当にありがたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

○高際区長

ありがとうございます。この総合教育会議は色々な意味があると思っています。教育そのものは教育委員会ですが、区としてどこに予算をつけるか、何を優先するのかというところは、区長部局と一緒にやることが重要だと、この3回をご一緒させていただいて痛感いたしました。

来年度も教育委員会と一緒に頑張ろうと思います。最後、教育長からどうぞ。

○金子教育長

本日は今年度最後の総合教育会議ですけれども、非常に有意義な3回だったと思います。ビジョンの策定はこれからですので、さらに頑張っていきます。

これまでも色々な方、子どもも大人も本当にたくさん会うことができて、これも区長の声掛けのおかげであると感謝しております。

とにかく声を聞いて、その中から重点事業を探し、願いすべきことは願いしていきたいと思っています。

委員の皆さんにいつもお手伝いいただきまして、本当にありがとうございます。貴重なご意見をいただいておりますので、しっかりと最後までやりたいと思います。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○高際区長

はい、ありがとうございます。

では、今日で今年度最後の総合教育会議になります。改めて御礼申し上げます。教育大綱の案など、まとめたものは皆様にもぜひご提供させていただいて、また忌憚のないご意見をお寄せいただけるとありがたいなと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

では、以上で第3回豊島区総合教育会議を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。